

第5次きさらづ障がい者プラン進捗状況

1 みんなが理解し合えるまちづくり

（1）理解を深める活動の推進

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
<p>①広報活動（情報提供）の充実</p>	<p>○障がいのある人に配慮したホームページ（インターネット）・広報・市議会だより・「福祉きさらづ」の作成・配布に努めます。</p>	<p>シティプロモーション課 障がい福祉課 議会事務局 図書館 社会福祉協議会</p>	<p>【シティプロモーション課】 ホームページでは、障がいのある人にもわかりやすい内容を目指すため、音声読み上げを意識したページ作成や、シンプルな表を作成するなど、ウェブアクセシビリティの向上を図りました。 広報きさらづでは、紙面の背景色とテキスト色のコントラストを意識し、色覚の認識が難しい人に対する記事の見やすさの向上を図りました。</p> <p>【障がい福祉課】 障がい福祉制度に関する情報提供に努めました。</p> <p>【議会事務局】 障がい福祉施策に関する議案審議の内容を掲載しました。</p> <p>【図書館】</p>

第5次きさらづ障がい者プラン（抜粋）

			<p>録音図書・点字図書・大活字本・マルチメディアデージー図書の目録を図書館ホームページに掲載し、利用促進を図りました。</p> <p>広報及び市議会だよりの音声デージーについては、利用者に利用を呼びかけました。</p> <p>【社会福祉協議会】</p> <p>社協広報「福祉きさらづ」について毎号、視覚障がいのある方用に音訳CDを作成し貸し出しをしました。</p> <p>また、ホームページでは新着情報を迅速に提供できるように努めると共にツイッターの開設を行いました。</p>
②資料（情報）の収集・作成	○多様化する障がいに関する様々な情報について、収集・作成等を実施します。	障がい福祉課	<p>【障がい福祉課】</p> <p>障がい者に関するマークや障がいについてのポスターを作成・掲示することで、障がい者に対する理解を推進しました。</p>
③「障害者週間」「人権週間*」活動の充実	○「障害者週間」「人権週間」に合わせ、市民が理解し合える活動を実施します。	障がい福祉課 市民活動支援課 地域自立支援協議会	<p>【障がい福祉課・地域自立支援協議会】</p> <p>啓発交流部会を中心として、イオンモールで啓発交流イベントを行いました。</p> <p>【市民活動支援課】</p> <p>令和3年12月6日に人権行政合同特設相談を実施しました。</p>

第5次きさらづ障がい者プラン（抜粋）

<p>④ 関係団体による 推進活動の充実</p>	<p>○障がい者関係団体等が行う推進活動を支援 します。</p>	<p>障がい福祉課 地域自立支援協議会</p>	<p>【障がい福祉課・地域自立支援協 議会】 啓発交流部会を中心として、 イオンモールで啓発交流イベン トを行いました。</p>
<p>⑤ 地域自立支援協 議会の広報活動 の充実</p>	<p>○木更津市地域自立支援協議会の活動内容を 掲載し、障がいのある人が必要とする情報 を得られるようホームページ（インター ネット）の内容充実を図ります。</p>	<p>障がい福祉課 地域自立支援協議会</p>	<p>【障がい福祉課・地域自立支援協 議会】 啓発交流部会を中心として、 ホームページの見直しを行いま した。</p>
<p>⑥ 身体障がい者用 駐車場の利用証 発行制度の推進</p>	<p>○身体障がい者用駐車場など、障がい者等用 駐車区画の適正利用を推進するため、パー キングパーミット*制度の実現に向け取り 組んでいきます。</p>	<p>障がい福祉課</p>	<p>【障がい福祉課】 広報きさらづ、市ホームペー ジに制度に係る掲載を行い、周 知を図りました。</p>

（2）福祉教育の充実

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
<p>① 学校等における福祉教育の推進</p>	<p>○教育機関における福祉教育を継続的にを行います。</p> <p>○学校職員等に対する福祉への理解・啓発機会の充実を図ります。</p> <p>○障がいの有無にかかわらず地域で暮らす子どもたちの連帯意識を育み、障がいのある人に対する理解を深めるため、市が主体となり学校と協力体制を図り、特別支援学校などの子どもとの交流教育を目的とした行事を企画し、推進します。</p> <p>○副読本の活用やボランティア体験など、障がい特性を理解する新規プログラムを導入し、学校教育における障がいのある人の問題に関する学習機会の充実を図ります。</p>	<p>学校教育課</p> <p>社会福祉協議会</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>学校における教育活動全体を通し、人権、福祉に対する意識の啓発を図りました。</p> <p>オリパラ教育の推進校として、清見台小学校が学校職員及び児童が様々な取り組みを行い、東京オリンピック閉会式において、I'mPOSSIBLEアワードを受賞しました。</p> <p>特別支援学校と連携し、居住地校交流を8校（14名）で実施しました。</p> <p>【社会福祉協議会】</p> <p>市内の小学校・中学校で福祉体験学習を実施しました。</p> <p>（小学校14校：18回、中学校4校：5回）</p>
<p>② 社会教育等における人権や障がいのある人の問題の学習機会の充実</p>	<p>○社会教育を通じ、人権や障がいのある人への理解・問題に関する学習機会（公民館等の利用）の充実を図ります。</p> <p>○人権啓発事業の充実を図ります。</p>	<p>生涯学習課</p> <p>市民活動支援課</p>	<p>【生涯学習課】</p> <p>「学校現場の子どもの人権～マイノリティの視点から～」というテーマの人権教育研修会を実施しました。（Zoom）</p> <p>【市民活動支援課】</p> <p>市内小学校6校で人権擁護委員による人権教室を実施し、計</p>

第5次きさらづ障がい者プラン（抜粋）

			<p>454名の児童が参加しました。</p> <p>また、きさらづオレンジフェスタで人権啓発グッズを200部配布しました。</p>
--	--	--	---

（3）交流・ふれあいの拡充

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
① 地域活動における日常的な交流の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○日頃から、近所や地域の中でお互いに交流ができるように、行政や各自治体等の様々な行事の企画を支援します。 ○心のバリアフリーを図るため交流やふれあいの機会を増やします。 	社会福祉協議会 （行事のバックアップ） 各種相談機関	【社会福祉協議会】 自治会からの研修企画の相談に応じ、地区の防災連絡会議の書面会議へ参加し、支援を行いました。
② 障がいのある人の社会参加促進	<ul style="list-style-type: none"> ○各種の交流活動・事業への介助者や手話通訳者の配置等に対する支援を行います。 ○各種の交流活動・事業の開催において、様々な広報活動をし、障がいのある人へも情報が伝わるようにします。 	障がい福祉課 地域自立支援協議会	【障がい福祉課】 手話通訳派遣事業を実施しました。 【地域自立支援協議会】 就労生活支援部会にて、就労事業所案内本「日中活動事業所案内」を作成しました。
③ 交流活動への支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○開催場所や開催に係る助言アドバイスなど障がい者関係団体や地域等による交流活動への支援を行います。 ○ふれジョブ活動を推進します。 	社会福祉協議会 障がい福祉課 地域自立支援協議会	【社会福祉協議会】 障がい者団体等に福祉まつりへの案内をしました。（新型コロナウイルス感染症防止の観点から縮小して実施しました。） 【障がい福祉課】 地域自立支援協議会、関係事業所と連携し、啓発交流イベントを行いました。 【地域自立支援協議会】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためプレジョブ活動を行わず、「日中活動事業所案内」

第5次きさらづ障がい者プラン（抜粋）

			内」を作成して交流活動への支援の充実を図りました。
--	--	--	---------------------------

（4）ボランティア活動やNPO活動の推進

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
<p>① ボランティア・NPO活動に関する情報提供の充実</p>	<p>○市や社会福祉協議会の広報など多様な媒体を活用し、ボランティア・NPO活動に関する市民への情報提供の充実を図ります。</p> <p>○ボランティア参加の窓口を明確にし、市民等に周知活動を行います。</p>	<p>障がい福祉課 社会福祉協議会</p> <p>市民活動支援課</p>	<p>【障がい福祉課】 関連するチラシを窓口に置いて、周知を図りました。</p> <p>【社会福祉協議会】 社会福祉協議会、広報「福祉きさらづ」及びホームページやツイッターにて様々なボランティア情報の提供を実施しました。 また、「福祉きさらづ」トップページにボランティア特集を企画しました。（第159号）</p> <p>【市民活動支援課】 市民活動支援センター「きさらづみらいラボ」にて、広報誌やSNSを通じて、市民活動に関する情報提供を行いました。</p>
<p>② 市民各層のボランティア活動への参加促進</p>	<p>○市民各層のボランティア活動・NPO活動への参加を図るために、課題別のボランティア養成講座やボランティア体験の機会の充実を図ります。</p> <p>○ボランティア活動希望者の登録や調整、組織化を支援します。</p>	<p>社会福祉協議会</p> <p>市民活動支援課</p>	<p>【社会福祉協議会】 福祉教育ボランティア養成研修会を開催しました。</p> <p>【市民活動支援課】 市民活動支援センター「きさらづみらいラボ」にて、ボランティアの参加機会となる自主事業や組織化等を支援する相談会を実施しました。</p>

<p>③ 障がいのある人のボランティア活動（ピア・サポート活動）の参加促進</p>	<p>○障がいのある人自らが同じ立場で障がいのある人を支援するボランティア活動（ピア・サポート活動）の支援を行います。</p>	<p>障がい福祉課</p>	<p>【障がい福祉課】 課内に当事者が勤務しており、当事者に寄り添った支援を行いました。</p>
<p>④ ボランティア・NPO活動の活性化</p>	<p>○社会福祉協議会ボランティアセンターの育成機能や調整機能の充実を促進します。</p> <p>○今後、支援が求められる障がいのある人々に、より充実したボランティア・NPO活動を推進します。</p> <p>○ボランティアやNPO相互の交流・課題共有の機会の充実とネットワーク化を促進します。</p>	<p>社会福祉協議会</p> <p>障がい福祉課</p> <p>市民活動支援課</p>	<p>【社会福祉協議会】 専門のボランティアコーディネーターを配置しボランティアセンターの機能充実を図りました。</p> <p>【障がい福祉課】 NPO法人が運営する事業所に補助金を支出しました。</p> <p>【市民活動支援課】 市民活動支援センター「きさらづみらいラボ」にて、団体交流会やコミュニティカフェ等を開催し、市民や団体相互の交流を図りました。</p>

（5）地域福祉の基盤づくりの推進

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
<p>①地域の見守り・助け合い・支え合い活動等小地域での福祉活動の促進</p>	<p>○地域の住民、民生委員・児童委員*、社会福祉協議会、自治会等による小地域単位での福祉活動の充実とネットワーク化を図ります。</p> <p>○地域での見守り活動を推進します。</p>	<p>社会福祉課 社会福祉協議会</p> <p>高齢者福祉課</p>	<p>【社会福祉課】</p> <p>令和4年3月31日時点の民生委員・児童委員数は、定員244名に対して219名です。欠員数が25名であるため、欠員解消に努めます。</p> <p>また、第4期木更津市地域福祉計画の策定にあたり、各地区社協において、市社協と共同で地区懇談会を実施し、現状における各地区の福祉課題の意見聴取を実施しました。</p> <p>【社会福祉協議会】</p> <p>生活支援体制整備事業で波岡東地区と岩根東地区に加えて請西・真舟小地区に生活支援コーディネーターを配置しました。</p> <p>また、様々な団体から構成する協議体にて情報の共有と連携を図り、住民の課題解決に向けて取り組みました。</p> <p>助成事業の実施により、各地区社会福祉協議会による福祉活動の充実・ネットワークづくりを推進しました。</p> <p>【高齢者福祉課】</p> <p>民生委員による見守りや見守りキーホルダー事業により地域包括支援センターと連携して見守り事業を推進しま</p>

			した。
② 市民、事業者、ボランティア・NPOなどの連携強化	○市民、事業者、医療、ボランティア・NPO及び市・社会福祉協議会などの連携、協力による地域福祉活動を推進します。	社会福祉課 社会福祉協議会	<p>【社会福祉課】</p> <p>市社協と連携し、コミュニティソーシャルワーク事業の充実に努め、市社協のネットワークを活用して、各事業者等への連携を促進しました。</p> <p>【社会福祉協議会】</p> <p>各種団体の連携を強化するために福祉まつりを開催しました。（新型コロナウイルス感染防止の観点から縮小して実施しました。）</p>
③ 地域の様々な社会資源の有効活用	<p>○市内各地域の様々な公共施設や空き店舗など、障がいのある人やボランティア・NPOの活動拠点としての社会資源の有効活用を図ります。</p> <p>○地域に住んでいる、有資格者や知識・経験を有する市民の活用など、福祉人材の確保を図ります。</p>	障がい福祉課 障がい福祉課	<p>【障がい福祉課】</p> <p>障がい者支援施設等が社会資源を有効活用できるよう推進しました。</p> <p>【障がい福祉課】</p> <p>有資格者の相談員に協力をいただき、福祉人材の確保に努めました。</p>
④ 地域課題の解決	○障がい福祉に関する地域の課題について地域自立支援協議会において協議します。	地域自立支援協議会	<p>【地域自立支援協議会】</p> <p>地域自立支援協議会各専門部会において継続して協議しました。</p>

2 自立した生活をおくれるまちづくり

（1）保健・医療・リハビリテーションの推進

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
①生活習慣病予防・介護予防対策の推進	<p>○障がいのある人への生活習慣病予防に係る支援策の実施を検討します。</p> <p>○高齢者に対して必要な治療の継続の重要性、要支援、要介護認定の原因疾病の情報提供を含む介護予防事業を推進します。</p>	<p>健康推進課 地域自立支援協議会</p> <p>高齢者福祉課</p>	<p>【健康推進課】 健診時や健診後の資料配布による啓発や個別の保健指導を実施しました。</p> <p>【地域自立支援協議会】 こども部会で健診の案内をしました。</p> <p>【高齢者福祉課】 要支援要介護認定となった原因疾患についての資料を反映させながら、介護予防教室等の介護予防事業を推進しました。</p>
②医療費の給付	<p>○重度障がいのある人や精神障がいのある人を対象に、医療費の支給や自己負担金の助成を行います。</p>	障がい福祉課	<p>【障がい福祉課】 重度医療、精神医療費の助成を行いました。</p>
③安心して利用できる地域医療	<p>○障がいのある人が必要な医療を受けられるように支援します。</p>	障がい福祉課	<p>【障がい福祉課】 必要に応じて医療機関と連絡調整を行いました。</p>
④在宅療養生活の支援	<p>○障がい及びその原因となる疾患の発見から、早期治療、リハビリテーション、福祉サービス、介護サービスへと適切に支援するための関係機関や福祉の連携強化を図ります。</p> <p>○在宅での療養生活を支援するための保健・医療・福祉にわたる関係機関との連携強化を図ります。</p>	<p>障がい福祉課</p> <p>高齢者福祉課</p>	<p>【障がい福祉課】 各種地域連携会議に出席し連携強化に努めました。</p> <p>【高齢者福祉課】 在宅での療養生活支援のため、保健・医療・福祉の多職種による在宅医</p>

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
⑤ リハビリテーション体制の充実	<p>○障がいにより身体の機能が低下している人を対象とする日常生活の自立支援のための訓練の充実を図ります。</p> <p>○介護保険制度との連携を図り、加齢に伴う身体機能が低下した高齢者へのリハビリテーションの充実を図ります。</p>	<p>障がい福祉課</p> <p>高齢者福祉課</p>	<p>療・介護連携推進協議会により連携強化を進めました。</p> <p>【障がい福祉課】 利用者を自立訓練施設「あくていぶ」を案内し、自立訓練の充実を図りました。</p> <p>【高齢者福祉課】 「住民主体の通いの場」の参加者に対して、リハビリ専門職の指導を行う地域リハビリテーション活動支援事業を実施しました。</p>
⑥ 精神保健福祉事業の推進	<p>○心の健康に対する予防対策を推進します。</p> <p>○思春期や壮年期など、不安や悩みを抱えやすい世代に対する相談業務を推進します。</p>	<p>健康推進課</p> <p>自立支援課</p> <p>障がい福祉課</p>	<p>【健康推進課】 各種相談、健診事業、電話相談等による支援を実施し、相談内容に応じた支援機関を紹介しました。</p> <p>【自立支援課】 障がい福祉課や関係機関と連携をとり、本人や家族からの相談に応じ、支援を行いました。</p> <p>【障がい福祉課】 関係機関と連携をとり、本人や家族からの相談に応じて支援を行いました。</p>

（2）在宅福祉サービスの充実

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
① 障害者総合支援法に基づく「介護給付」の提供	○障害者総合支援法に基づく「居宅介護（ホームヘルプサービス）」や「重度訪問介護」「行動援護」「生活介護」「療養介護」「同行援護」の障害支援区分に応じたサービスの提供を行います。	障がい福祉課	【障がい福祉課】 当事者特性に適合した支給に努めました。
② 障害者総合支援法に基づく「訓練等給付」の提供	○障害者総合支援法に基づき、日中活動系サービスとして「自立訓練」や「就労移行支援」「就労継続支援」「就労定着支援」「自立生活援助」及び「共同生活援助（グループホーム）」を提供します。	障がい福祉課	【障がい福祉課】 日中活動系サービスについて当事者特性に適合した支給に努めました。
③ 障害者総合支援法に基づく「地域生活支援事業※」の推進	○障害者総合支援法に基づく「地域生活支援事業」について、障がいのある人の利用ニーズなどを踏まえた事業を実施します（「理解啓発事業」「自発的活動支援」「成年後見制度利用支援」「手話奉仕員養成」「相談支援」「コミュニケーション支援（手話通訳派遣等）」「日常生活用具給付等」「移動支援」「地域活動支援センター」及びその他任意事業）。	障がい福祉課 自立支援課	【障がい福祉課】 地域生活支援事業の各種事業の支給に努めました。 【自立支援課】 成年後見制度利用のための市長申立や後見人等の報酬を支払うのが難しい人に対し、報酬助成を行いました。
④ 在宅の難病患者等に対する支援	○保健・医療・福祉の連携強化による訪問指導などのきめ細かな支援体制の整備を図ります。	君津健康福祉センター	【君津健康福祉センター】 特定医療費（指定難病）助成制度の申請等により難病患者を把握し、相談に応じ、療養状況を確認しました。 状況に応じて、療養生活の支援を行い、必要時福祉制度等の紹介を行いました。

<p>⑤ 発達障がいのある人への総合的な支援策の検討</p>	<p>○発達障がいのある人への支援策の実施を検討します。</p>	<p>学校教育課 子育て支援課 こども保育課</p>	<p>【学校教育課】 「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」を作成し、子供の発達段階に応じた支援を行いました。</p> <p>【子育て支援課】 「きさらづネウボラ」の発達相談として、専門職による窓口相談、こども相談、保育園等巡回相談、親子教室を実施しました。子どもの所属先への訪問、連携を柔軟に行いました。</p> <p>【こども保育課】 園内での情報共有及び個別支援計画を作成し、巡回相談を通じ支援手法について指導を受け実施しました。</p>
--------------------------------	----------------------------------	------------------------------------	---

（3）居住支援の充実

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
① 障害者総合支援法に基づく施設入所支援等の充実	○障害者総合支援法に基づく入所支援施設やグループホーム、生活ホームなど障がいのある人の地域生活を支援するための居住支援サービスの確保を図ります。 日中サービス支援型グループホームを通じて、施設等に入所している障がいのある人の地域移行を促進します。	障がい福祉課	【障がい福祉課】 中核地域生活支援センター「君津ふくしネット」と連携し、グループホームの情報共有を行いました。 新設のグループホームについては内覧会等に参加し、グループホームの特性を把握することに努めました。
② 一般住宅の確保の支援	○公営住宅への入居や新たな住宅セーフティネット制度の活用など、市の住宅施策との連携・調整による障がいのある人の住宅の確保を図ります。	住宅課	【住宅課】 新たなセーフティネットの構築を検討するための木更津市住生活基本計画対策推進委員会ワーキンググループを年度内に2回開催しました。 市営住宅の維持管理に係る除草業務の一部を就労継続支援B型事業所に委託しました。
③ 住宅改造の支援	○地域生活支援事業として、障がいのある人が暮らしやすいよう、住宅を改造するにあたっての相談の充実とともに、費用負担への支援を行います。	障がい福祉課	【障がい福祉課】 日常生活用具支給において住宅改修費支援を行いました。
④ 居住支援体制の充実	○住まいに関する相談等（地域移行支援・地域定着支援）に対して、解決できるよう一緒に考えます。地域生活支援拠点 [*] 整備に努めます。	障がい福祉課	【障がい福祉課】 基幹相談支援センターを中心として、退院後の居住先確保など住まいの相談支援を行いました。

（4）人権・権利擁護の推進

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
① 虐待防止など人権に関する啓発の推進	○障がいのある人に対する虐待防止のための市民、関係機関に対する意識啓発を行います。	障がい福祉課 子育て支援課	<p>【障がい福祉課】</p> <p>虐待防止に関するポスターを掲示しました。</p> <p>また、障害者週間に実施した啓発交流イベントにおいて、虐待防止・啓発のポケットティッシュを配布しました。</p> <p>【子育て支援課】</p> <p>11月の児童虐待防止月間に合わせての啓発活動や、オレンジボン着用による年間を通しての児童虐待防止の啓発に努めました。</p>
② 虐待等への的確な対応のための体制強化	○虐待の早期発見のためのチェック機能の強化と警察や医療機関、民生委員・児童委員などの関係機関・団体との連携強化による速やかな連絡・連携体制の構築を図ります。	障がい福祉課 高齢者福祉課 学校教育課	<p>【障がい福祉課】</p> <p>虐待を疑われる事案があれば関係機関と連携し、必要に応じて現地調査を行うなど、迅速な対応に努めました。</p> <p>また、権利擁護部会において事例研究を実施しました。</p> <p>【高齢者福祉課】</p> <p>適宜、関係機関と連携をとり早期対応、連携体制の整備を行いました。</p> <p>【学校教育課】</p> <p>木更津市要保護対策地域協議会実務者会議に出席し、現況を把握しました。</p>

	<p>○「子育て世代包括支援センター※」や「要保護児童対策地域協議会」と連携を図り、関係機関と情報共有、役割分担をし、協同で支援をします。</p> <p>○障害者虐待防止センターにおいて虐待の事実確認、立入調査、措置（一時保護、後見審判請求）などを実施します。</p>	<p>子育て支援課 こども保育課</p> <p>障がい福祉課</p>	<p>また、必要に応じて小・中学校と連携し、学校での様子を把握したり、校内のケース会議に出席したりして関係機関との連携を推進しました。</p> <p>【子育て支援課】</p> <p>要保護児童対策地域協議会構成機関のほか、事例に応じた関係機関とも連携・協働し、児童虐待対応に努めました。</p> <p>【こども保育課】</p> <p>要保護児童対策地域協議会実務者会議で情報共有を行い、児童相談所・子育て支援課・各保育施設との連携強化を図りました。</p> <p>【障がい福祉課】</p> <p>虐待を疑われる事案があれば関係機関と連携し、必要に応じて現地調査を行うなど、迅速な対応に努めました。</p> <p>また、権利擁護部会において事例研究を実施しました。</p>
<p>③日常生活自立支援事業の推進</p>	<p>○知的障がいや精神障がいなどにより判断能力が十分ではない人に対する権利擁護に係る相談、福祉サービスの利用援助、金銭管理サービスなどを行う日常生活自立支援事業を推進します。</p>	<p>社会福祉協議会</p>	<p>【社会福祉協議会】</p> <p>関係機関との連携により判断能力が十分でない方への事業利用を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談、訪問調査延回数316回（うち、知的障がい者29回、精神障がい者51回） ・事業利用者数68名

<p>④ 権利擁護体制の 確立</p>	<p>○きさらづ成年後見支援センターや成年後見制度に関する周知と利用促進を図ります。</p> <p>○きさらづ成年後見支援センターとの連携により、市民後見人養成講座を定期的を開催、権利擁護人材を育成し、権利擁護体制の強化を図ります。</p>	<p>自立支援課 社会福祉協議会</p>	<p>【自立支援課】</p> <p>成年後見等に係る相談については、木更津市社協に委託し、実施しました。</p> <p>①権利擁護人材の育成</p> <p>②成年後見制度に関する広報、啓発活動</p> <p>③成年後見制度に関する相談、支援体制の構築</p> <p>【社会福祉協議会】</p> <p>きさらづ成年後見支援センターでは、木更津市からの委託業務として次の事業を推進しました。</p> <p>①権利擁護人材の育成（市民後見人養成講座修了生のフォローアップ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主勉協会会場の確保 ・成年後見支援員活動のバックアップ ・市民後見人14名を後見等監督人の立場でバックアップ <p>②成年後見制度に関する広報啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協ホームページへの掲載 ・パンフレットおよびチラシによる周知（親族後見人の相談窓口機能を成年後見中核機関が実施） <p>③成年後見制度に関する相談、支援体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の周知
-------------------------	--	--------------------------	---

			<ul style="list-style-type: none"> ・法定後見制度、任意後見制度等に関する相談対応（新規件数89件） ④アセスメント、支援の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護支援定例会議を設置し、権利擁護支援の必要性や支援方針について検討を行った。（年間10回開催、新規事案18件、検討件数26回〈再協議含む〉） ⑤成年後見制度の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・木更津市権利擁護推進会議の設置運営（2回開催） ・千葉家庭裁判所木更津支部との意見交換会（3回実施） ・家事関係機関との連絡協議会（書面開催1回実施） ⑥後見人等支援 <ul style="list-style-type: none"> ・通年を通じて実施
<p>⑤ 差別解消に向けた取組</p>	<p>○差別解消に向けた取組を推進します。</p>	<p>地域自立支援協議会</p>	<p>【地域自立支援協議会】 権利擁護部会において事例検討を行いました。</p>

（5）経済的支援の充実

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
① 各種福祉手当の支給	○在宅の障がいのある人に対する各種福祉手当を支給します。	障がい福祉課	【障がい福祉課】 法令に基づき、各種福祉手当を支給を実施しました。
② 各種減免制度の周知と利用促進	○住民税の控除や自動車税・自動車取得税・軽自動車税の減免などのほか、JR・バス運賃、タクシー料金、有料道路通行料金、NHK放送受信料減免などの各種割引制度の周知・普及を促進します。	障がい福祉課	【障がい福祉課】 窓口において、該当者に対して案内をしました。

3 充実し生きがいのあるまちづくり

（1）生涯学習、スポーツ・レクリエーション活動の充実

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
① 生涯学習機会の充実及び参加に係る支援	<ul style="list-style-type: none"> ○障がいのある人の社会参加を促すため、生涯学習の機会の充実に努めます。 ○公民館活動等、身近な生涯学習の場への円滑な参加の支援に努めます。 	生涯学習課	<p>【生涯学習課】</p> <p>講演会等の開催にあたり、手話通訳を配置しました。（生涯学習フェスティバル、成人式）</p>
② 障がいのあるなしを問わず誰もが共に参加できるスポーツ・レクリエーション活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○障がいのある人がスポーツ・レクリエーション活動を気軽に親しむことができるよう、施設の整備・改善に努めます。 ○スポーツ・レクリエーションに関する情報の効果的な提供を促進します。 ○健康の維持増進と仲間づくりの輪を広げることを目的に、障がいのある人に配慮したスポーツ、誰もが気軽に取り組めるスポーツの企画・実施を推進します。 	<p>スポーツ振興課</p> <p>障がい福祉課</p> <p>障がい福祉課 地域自立支援協議会</p>	<p>【スポーツ振興課】</p> <p>体育施設の指定管理者と連携し、市民体育館でボッチャセットの貸出しを行いました。（8団体、13回）</p> <p>【障がい福祉課】</p> <p>障がい者のスポーツ団体からのチラシ及びポスターの掲示に努めました。</p> <p>【障がい福祉課】</p> <p>4市スポーツ大会に協力及び参加する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。</p> <p>【地域自立支援協議会】</p> <p>啓発交流イベントに障がい者スポーツに取り組んでいる当事者を招くことで、障がい者スポーツの振興に努めました。</p>

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
<p>③ 障がいのある人への生涯学習関連情報の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習関連情報の収集及び周知徹底に努めます。 ○障がい福祉に関する資料の収集と広く市民への提供を推進します。 ○生涯学習関連情報の提供拠点である図書館における録音図書・点字図書・大活字本など、障がいに配慮した図書の収集と利用促進を図ります。 	<p>図書館</p>	<p>【図書館】</p> <p>障がいに配慮した図書の収集と利用促進を図りました。</p> <p>録音図書55点収集27点貸出、点字図書135冊収集271冊を貸出しました。</p> <p>マルチメディアデイジー図書について、市内小学校へ1校に6点貸出を行い、市内公立小学校への障がいに配慮した図書の利用促進に努めました。</p>

（2）就労支援と就労の場の拡充

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
① 障がいのある人の雇用の推進	○障がいのある人を雇用している事業所へのフォローや雇用しようとしている事業所の相談や障がいや障がいのある人への理解の充実を図ります。	障がい福祉課 地域自立支援協議会	【障がい福祉課・地域自立支援協議会】 障がい者の雇用促進を図るため、就労生活支援部会で「日中活動事業所案内」を作成しました。
② 総合的な就労相談体制の確立	○障がいのため地域から孤立し能力がありながら情報や支援を受けられないため地域で働くことのできない方へのアウトリーチ*を含めた働きかけと相談を行います。	自立支援課	【自立支援課】 ハローワークへの同行支援、就労訓練事業所の開拓と利用のための調整などその人の働き方に合わせた支援を行いました。
③ 就労支援施設への支援	○特別支援学校卒業生や在宅の障がいのある人の要望を見極めた就労支援施設の支援を推進します。	障がい福祉課	【障がい福祉課】 特別支援学校が開催する移行支援会議に参加し、卒業する児童への支援を行いました。
④ 就労支援施設の工賃向上への支援	○事業所の工賃向上のための検討を行います。 ○障害者優先調達推進法の施行に伴い、市内部の優先調達に努め工賃向上を図ります。 ○市の施設を利用した障害福祉施設による販売を推進します。	障がい福祉課 地域自立支援協議会	【障がい福祉課】 市庁舎で障がい者支援施設が作成した商品を販売し、障がい者の自立促進を図りました。 【地域自立支援協議会】 啓発交流イベントで障がい者支援施設が作成した商品を販売し、障がい者の自立促進を図りました。
⑤ 市役所をはじめとする公的機関	○行政関連業務においても障がいのある人が働ける職場や職務内容について検討します。	職員課	【職員課】 職員採用試験にて、正規職員の募集を行い、採用をしまし

第5次きさらづ障がい者プラン（抜粋）

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
における雇用拡大			た。正規・非正規問わず、継続した雇用促進を行いました。

（3）日中活動の場づくり

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
① 障害者総合支援法に基づく日中活動の場の確保	○ 障害者総合支援法に基づく日中活動の場の確保を促進します。	障がい福祉課	【障がい福祉課】 日中一時支援事業所の新規指定を行いました。
② 新たな日中活動の場づくりの検討	○ 障がいのある人が参加するサークル、余暇活動をする団体・市民を積極的に支援します。	障がい福祉課 地域自立支援協議会	【障がい福祉課・地域自立支援協議会】 新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。

4 安全で安心して暮らせるまちづくり

（1）バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
① 公共施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進	○障がいの有無や年齢にかかわらず誰もが利用しやすい施設となるよう、公共施設のバリアフリー化の推進と計画段階からのユニバーサルデザインを推進します。	施設所管各課	引き続き、公共施設のバリアフリー化の推進及びユニバーサルデザインの推進に努めてまいります。
② 安全・安心の道路交通環境や公園の整備	○障がいのある人の歩行の安全確保と事故防止のための道路の段差解消や安全な道路交通環境の整備を図ります。 ○障がいのある人が利用しやすい園路やトイレなど公園施設の整備促進を図ります。	土木課 市街地整備課	【土木課】 請西地区で歩道切下げ工事（4箇所）を実施し、歩道の段差解消を行いました。 【市街地整備課】 鳥居崎海浜公園の再整備を行い、公園内南側トイレを改修し、多目的トイレを整備しました。
③ 障がいのある人の意向を踏まえた事業実施と「バリアフリー基本構想」の策定・推進	○新規あるいは既存の公共施設や道路等の整備の際に、障がい者関係団体等からの意見が反映されるシステムの定着を図ります。 ○「バリアフリー基本構想」の策定を検討し、公共施設とその周辺の道路等を含む、面によるバリアフリー化を推進します。	施設所管各課	安心安全部会において当事者の意見を反映させるよう努めました。
④ 民間建築物の整備改善に関する情報提供	○不特定多数の市民が利用する商業施設や銀行、病院などの民間建築物を中心としたバリアフリー化やユニバーサルデザインの普及に努めます。	建築指導課	【建築指導課】 千葉県福祉のまちづくり条例に基づく届出や適合証の発行により、バリアフリー化やユニ

第5次きさらづ障がい者プラン（抜粋）

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
			バーサルデザインの普及に努めています。

（2）移動・交通手段の整備改善

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
① 障害者総合支援法に基づく移動支援の充実	○移動に支障のある障がいのある人が安心して利用できるよう、障害者総合支援法に基づく行動援護のほか、地域生活支援事業に位置づけられる移動支援事業を推進します。	障がい福祉課	【障がい福祉課】 行動援護・移動支援事業を実施しております。
② 地域特性及び利用者のニーズに応じた移動支援の充実	○介護保険における総合事業対象者に向けた移動支援サービスを構築します。 ○タクシー券の交付等、利用者のニーズに応じた移動支援の充実を図ります。 ○利用者のニーズに応じた移動手段の充実を図ります。	高齢者福祉課 障がい福祉課 地域政策課	【高齢者福祉課】 実施主体となり得る団体へ、制度説明等を行いました。 【障がい福祉課】 タクシー券の交付や福祉カーの貸し出しを行いました。 【地域政策課】 令和3年7月から、交通不便地域である富来田地区における自家用有償旅客運送が、本格運行に移行しました。
③ 公共交通機関のバリアフリー化の促進	○電車やバスなどの公共交通機関のバリアフリー化を促進します。 ○駅施設などの情報のバリアフリー化(視覚・聴覚障がいに対応した文字や音等による情報提供)を働きかけます。 ○機器整備等によるバリアフリー化を補完する人による移動支援(接遇・介助等)の充実を図ります。	地域政策課 (公共交通機関)	【地域政策課】 ノンステップバス・ワンステップバスの導入促進について、バス事業者への働きかけを行いました。 令和3年度については、車両の導入率が90.5%から97.9%と、7.4%の増となりました。 ユニバーサルデザインタクシーの導入促進について、タクシー事業者への働きかけを行いました。

第5次きさらづ障がい者プラン（抜粋）

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
			<p>令和3年度については、車両の導入台数が46台から54台と、8台の増となりました。</p> <p>JR巖根駅において、高齢者・障害者などの移動制約者の負担を軽減するため、バリアフリー化の整備を促進しています。</p> <p>令和3年度は、駅構外の人道跨線橋へのエレベーター設置に関する詳細設計・地質調査が完了し、また、JR東日本が行う東口改札増設に関する調査に要する費用に対し、補助金を交付しました。</p>

（3）防災・防犯対策の充実

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
① 地域防災体制の確立	<p>○「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」に基づき避難行動要支援者避難支援プラン*を作成します。</p> <p>○地域ぐるみの防災・防犯体制の充実に取り組み、災害等の非常時にすばやく対応できるように関係機関のネットワークを強化します。</p>	<p>危機管理課 関係各課</p>	<p>【危機管理課】</p> <p>令和3年度新規に避難行動要支援者となった対象者に対し個別計画プランの作成依頼を行い、取りまとめを行いました。</p> <p>地域の自主防災組織による避難所運営マニュアルの作成を支援しており、地域ぐるみの防災の充実を図りました。</p>
② 情報伝達体制の整備	<p>○災害時の情報伝達手段として、防災行政広報無線、広報車、市ホームページ、きさらづ安心・安全メール、コミュニティFM、CATV等を活用し、視覚障がいや聴覚障がいなどがある人にも情報が伝わるよう防災情報システムの充実に努めます。また、災害復興時においても必要な諸手続きについて情報伝達に努めます。</p> <p>○聴覚障がい者・言語障がい者用メール119、ファックス119及びNet119緊急通報システムの周知、利用促進します。</p>	<p>危機管理課 関係各課 (放送事業者)</p> <p>消防署</p>	<p>【危機管理課】</p> <p>災害が発生したとき又は発生するおそれがあるときには、防災行政無線、市公式ホームページ、きさらづ安心・安全メールのほか、Lアラートを通じてテレビ、ラジオ、インターネットから防災情報を発信しました。</p> <p>また、平成29年度から同報系防災行政無線のデジタル化整備を進めており、的確な情報伝達が可能となる様、引き続き取り組んでまいります。</p> <p>【消防署】</p> <p>きさらづプロモチャンネルに『Net119緊急通報システム簡単操作で119番』を掲載しました。</p> <p>また、消防署警防隊にて年4回発行している『消防だより』の令和3年度8月号において、Net</p>

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
			<p>119利用案内記事を掲載し、市民へ回覧及び木更津市HPに掲載しました。</p> <p>令和2年2月から運用開始されたNet119登録者は、令和2年度から1名増え現在22名。</p>
<p>③ 障がい特性に合わせた福祉避難所[※]の整備</p>	<p>○災害時の避難所を障がいのある人が支障なく利用できるようにするため、避難所に指定した施設のバリアフリー化や簡易ベッド、簡易トイレ等の整備及び避難時の介助員の配置等について検討します。（木更津市地域防災計画）</p> <p>○災害時に避難所へ避難が必要な人の状況を把握し対象者を収容できる規模の福祉避難所の確保を図ります。</p> <p>○視覚障がいや聴覚障がいがある人への情報伝達が行うことのできる福祉避難所の確保を図ります。</p> <p>○福祉避難所において必要な支援に関する相談ができる窓口の設置を図ります。</p> <p>○障がい者入所施設やグループホームは多くの障がいのある人が共に生活しているため、関係機関と連携し、平時から減災対策に努めます。</p>	<p>危機管理課 障がい福祉課</p>	<p>【危機管理課】</p> <p>災害時の福祉用具の供給に関する協定は1件であり、令和元年度末から増減はありません。引き続き用具や施設整備について、協定なども視野に検討してまいります。</p> <p>福祉避難所の種類及び数は介護施設が7箇所、障がい者支援施設2箇所、合計9箇所であり令和元年度末から増減はありません。引き続き福祉避難所の確保に努めます。</p> <p>【障がい福祉課】</p> <p>安心安全部会、権利擁護部会で防災関連の研修を行いました。</p>
<p>④ 防災学習の充実</p>	<p>○障がいのある人や福祉関係者に対する防災研修の実施を検討します。</p> <p>○平常時から障がいのある人たちと接している社会福祉協議会、民生委員・児童委員、ケアマネジャー、介護職員等の福祉サービス提供者、障が</p>	<p>危機管理課</p> <p>社会福祉協議会</p>	<p>【危機管理課】</p> <p>木更津市自主防災実務者講習会（千葉県災害対策コーディネーター養成講座）を毎年度実施していますが、新型コロナウイルス感染症拡大により、令和3年度は実施しておりません。</p> <p>令和4年度については実施予定です。</p> <p>【社会福祉協議会】</p> <p>令和元年度の台風災害での教訓を生かし、災害時連携・協働セミ</p>

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
	<p>い者関係団体等の福祉関係者に対する防災研修・訓練を実施して相互の連携を深めます。</p>		<p>ナーを企画しました。（新型コロナウイルス感染症防止の観点から延期となりました。）</p>
<p>⑤ 地域防犯体制の確立</p>	<p>○地域における障がいのある人の防犯思想の普及・啓発、防犯パトロールなど地域安全活動を推進します。</p> <p>○障がいのある人への消費者教育の充実を図ります。</p>	<p>市民活動支援課</p>	<p>【市民活動支援課】</p> <p>市職員によるパトロール、防犯指導員への青色回転灯の貸出等各種パトロールを実施しました。</p> <p>防犯ボックスのセーフティアドバイザーにより、広域にわたるパトロール回数の確保と不審者情報等に合わせた迅速・柔軟な警戒活動を実現しました。</p>
<p>⑥ 新型コロナウイルス等の感染症拡大防止体制の確立</p>	<p>○障がい者施設などの新型コロナウイルス等の感染症拡大防止について、関係機関と連携し対策に努めます。</p>	<p>障がい福祉課</p>	<p>【障がい福祉課】</p> <p>市内障がい者施設へマスク、手袋等を配付し、感染拡大防止に努めました。</p>

5 健やかな成長を支援するまちづくり

（1）障がいの早期発見・早期療育の推進

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
<p>① 安心安全な出産と健やかな発達に向けての母子支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健やかな妊娠、出産のための啓発活動を行います。 ○ 乳幼児の健康診査時に育てにくさを感じる子どもを把握し、関係機関と連携を図りながら切れ目のない支援を行います。 ○ 親が子どもの特性を理解して子育てができるよう、専門職による心理発達相談を実施し、必要に応じ、専門機関を紹介します。 	<p>健康推進課</p> <p>子育て支援課</p> <p>こども保育課</p>	<p>【健康推進課】</p> <p>乳幼児健診や電話相談等にて、発達が気になる児や、育てにくさや育児に不安を感じる保護者に対し、適宜支援を行うと共に、必要時、子育て支援課をはじめ関係機関へ繋ぎ、保護者への支援を行いました。</p> <p>【子育て支援課】</p> <p>母子健康手帳の交付時に、すべての妊婦に対して母子保健コーディネーターが保健指導を実施しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い医療機関におけるマタニティ教室の中止等から、妊娠・出産に対する知識、情報の不足などによる妊婦の不安が増大していることから、プレママ講座を1回→2回1コースとし、内容の充実をはかりました。</p> <p>発達相談員による個別相談は、こども相談以外に、窓口での相談も実施しました。</p>

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
			<p>また、相談後のフォローで所属への訪問、児童発達支援事業所の見学の同行を行うなど柔軟に対応しました。</p> <p>【こども保育課】</p> <p>保育園入園前後の親子を対象に、園庭開放や子育て講座を計画し、新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら実施しました。</p>
<p>② 早期療育体制の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発達が疑われる子が早期専門機関の受診や療育を受けられるように支援します。 ○ 障がいの早期発見のための保健、福祉、学校等の連携を強化し、早期療育につなげます。 ○ 発達状態に応じた個別指導によるきめ細かな対応を推進します。 ○ 臨床心理士・言語聴覚士等の配置に努めます。 	<p>障がい福祉課 学校教育課 子育て支援課 こども保育課 まなび支援センター</p>	<p>【障がい福祉課】</p> <p>障害福祉サービスを利用して、発達の遅れが疑われる児童や家族への支援を実施しました。</p> <p>【学校教育課】</p> <p>保育園・幼稚園を訪問し、年長児を中心に実態を把握したり、就学指導につなげたりしています。</p> <p>各小・中学校で「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」を作成し、子供の特性や成長の様子、必要な支援について、保護者・学校・関係機関等が共有し、子供の必要な情報を次の教育や就労の場所で活用できるようにしています。</p> <p>【子育て支援課】</p> <p>個別相談（こども相談）及びネウボラ窓口で、心理士や言語聴覚士等が相談に応じ、保護者に寄り添いながら支援を行いました。</p>

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
			<p>相談後、各ケースに応じ、療育支援に繋げるなど、関係機関と連携して支援を展開しています。</p> <p>親子教室は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、個別で実施をして対応しました。</p> <p>保護者と課題を共有し合いながら効果的な支援を行うことができました。</p> <p>【こども保育課】</p> <p>保育園・保護者・療育施設等と連携を図り、共通理解のもと成長・発達に応じた継続的な支援を行いました。</p> <p>【まなび支援センター】</p> <p>市内幼稚園・保育園・認定こども園等の幼児を対象に言語検査を実施し、ことばの課題の早期発見に努め、安心して小学校へ就学できるように取り組みました。</p> <p>ことばに課題を持つ就学前の幼児とその保護者に対して、状況に応じた個別指導、個別相談を行いました。</p> <p>専門家を交えての事例研修会を年3回実施しております。</p> <p>対象幼児の保護者を対象とした講演会を11月に実施し、幼児期におけることばの支援につなげました。</p>

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
③ 一貫した支援体制の実施	○療育手帳交付時に「ライフサポートファイル（クローバー）※」を配布し、一貫した生活の質の向上を目指します。	障がい福祉課	【障がい福祉課】 施策のとおり実施しました。
④ 居宅訪問型児童発達支援における円滑な利用の支援	○重度の障がい等により外出が著しく困難な障がい児の居宅を訪問して発達支援を行う居宅訪問型児童発達支援事業において、円滑な利用を支援します。	障がい福祉課 地域自立支援協議会	【障がい福祉課】 基幹相談支援センターが主体となって市内障害福祉サービス事業所を対象として研修会を実施しました。 【地域自立支援協議会】 居宅訪問型児童発達支援を受けている医療的ケア児等が安心して暮らせるよう、市内障害福祉サービス事業所を対象に研修会を実施しました。

（2）誰でも受けやすい教育環境の充実

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
① 就学・教育相談体制の充実	○保健・福祉や保育所、幼稚園、学校等における就学・進路相談機能の充実と相互連携の強化を図ります。	子育て支援課 こども保育課 学校教育課 障がい福祉課	【子育て支援課】 「きさらづネウボラ」での発達相談や保育園・幼稚園等巡回相談において、就学を見据えた働きかけを行い、学校教育課との連携や小学校への引継ぎを行うことも多くあり、就学への切れ目ない支援の足掛かりとなるよう対応しました。 【こども保育課】 保育園では就学に向け個別の支援が必要な場合、保護者への働きかけ

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
			<p>を行い就学相談につなげ、小学校との連携を図りました。</p> <p>保育園・幼稚園から必要に応じた就学支援計画を小学校へ引き継ぎます。</p> <p>【学校教育課】</p> <p>必要に応じて、保育園・幼稚園からの就学支援計画を小学校へ引き継ぎます。</p> <p>就学指導に係る情報を、個人情報に配慮しながら、各学校、保育園・幼稚園、「きさらづネウボラ」等と共有するなど、連携を図りました。</p> <p>【障がい福祉課】</p> <p>特別支援学校高等部の進路相談や学校教育課、こども保育課と連携し進路相談を実施しました。</p>
<p>② 障がいのある子どもに対する適切な教育機会の提供</p>	<p>○特別支援学級の設置や通常の学級で学ぶ場合の施設・設備の整備に努めます。</p>	<p>学校教育課</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>就学支援委員会を設置し、医師の相談や就学相談等により就学先について協議し、ひとりひとりに適した教育の場を提供していくよう努めました。</p>
<p>③ 特別支援教育の推進</p>	<p>○通常の学校に在籍するLDやADHD、高機能自閉症などの発達障がいにより特別な教育的支援が必要な子どもに対する支援体制の整備として、SST（スクールサポートティーチャー）*等を配置し、多様なニーズに適切な支援を図ります。</p> <p>○身体に障がいのある子どもに対し、移動、介助等一人ひとりの教育的ニーズに合わせ</p>	<p>学校教育課</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>特別な教育的支援が必要な子供に対し、スクール・サポート・ティーチャー23名を小学校15校に配置し、子供に合った個別的指導・支援を行いました。</p> <p>巡回相談（事例検討会）、特別支援連携協議会を定期的実施し、特</p>

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
	<p>た合理的配慮や必要な支援を行い、安定した学校生活を支援します。</p>		<p>別支援教育体制の充実を図りました。</p> <p>介助補助員4名を小学校3校に配置し、子供の実態に応じて移動、介助等の支援を行いました。（令和4年度は12名、小学校10校、中学校1校）</p>
<p>④「障がい」に関する教職員研修の充実</p>	<p>○発達障がいを含めた多様な障がいに対する理解を深めるための教職員研修の充実を図ります。</p>	<p>学校教育課</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>各学校において、複数名の特別支援教育コーディネーターを配置することを依頼し、年に1回のコーディネーター研修会を教育委員会主催で開催しました。（令和3年度は、オンラインにて実施）</p>
<p>⑤障がいのある子どもの放課後対策等の充実</p>	<p>○障がいのある未就学及び就学している子どもの夏休みなど長期休暇時における居場所づくりや放課後対策を促進するため、地域のニーズに合わせ、利用しやすく、質を確保したサービスの提供を支援します。</p>	<p>学校教育課 こども保育課 障がい福祉課 地域自立支援協議会</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>各学校に対し、障がいのある子供の放課後の過ごし方について、保護者との連絡を密にし、適切に対応するように指導していきます。</p> <p>相談等があった場合に、放課後デイサービス等の紹介を行っています。</p> <p>【こども保育課】</p> <p>相談等があった場合に、放課後デイサービス等の紹介を行っています。</p> <p>【障がい福祉課】</p> <p>障がいを持つ就学児童が放課後等にも継続して支援を受けられるよう事業所を紹介しました。</p> <p>【地域自立支援協議会】</p>

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
	<ul style="list-style-type: none"> ○重度心身障がいのある子どもの受入体制を支援します。 ○医療的ケア児の支援について関係機関による協議を推進します。 	<p>障がい福祉課</p> <p>障がい福祉課 地域自立支援協議会</p>	<p>こども部会で子どもの居場所づくりを推進するよう努めました。</p> <p>【障がい福祉課】</p> <p>通所事業所の医療的ケアに従事する看護師の人件費に対し、予算の範囲内において補助金を交付することにより、医療的ケアを要する在宅の重度障害児等の通所先の確保を促進し、介護をしている家族の負担の軽減を推進しました。</p> <p>【地域自立支援協議会】</p> <p>個別支援機関会議で医療的ケア児に関する研修を行いました。</p>

6 総合的支援のあるまちづくり

（1）相談体制の充実

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
① 窓口サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ○障がいの特性に配慮したきめ細かな窓口サービスの充実を図ります。 ○ファックスやメール、電話による相談や訪問による相談、手話通訳者・要約筆記者同席相談も検討します。 ○相談窓口のスキルアップを目指し、障がいの特性の知識など専門性向上を図ります。 	障がい福祉課	<p>【障がい福祉課】</p> <p>担当業務を障がい別に分けて対応しております。</p> <p>施策のとおり実施しております。</p> <p>各種研修会に努めて参加しております。</p>
② 総合的な相談体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○障がいのある人やその家族からの多岐にわたる相談に迅速かつ的確に対応できるよう、関係各課・関係各機関と連携し、「ワンストップ相談※」体制を整えます。 ○委託された相談支援事業所において、障がいのある人の福祉に関する相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービスの利用支援等を行います。 ○基幹相談支援センターの機能を強化し、地域における中核的な役割を担います。 	<p>障がい福祉課 自立支援課</p> <p>相談支援事業所</p> <p>障がい福祉課</p>	<p>【障がい福祉課】</p> <p>基幹相談支援センターを設置し、障がいに関する総合的及び専門的な相談支援を行いました。</p> <p>【自立支援課】</p> <p>障がい福祉課や関係機関と連携を図り、障がいのある人やその家族からの相談に応じ、支援を行いました。</p> <p>【相談支援事業所】</p> <p>障がい者やその家族から相談を受け、障害福祉サービスの利用援助（情報提供、相談等）、社会資源を活用するための支援を行いました。</p> <p>【障がい福祉課】</p>

第5次きさらづ障がい者プラン（抜粋）

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
			<p>ことで日中活動が充実したものとなるよう支援しております。</p>
<p>⑥ 計画相談支援の充実</p>	<p>○相談支援事業所を確保し、セルフプランの解消に努めます。</p>	<p>障がい福祉課</p>	<p>【障がい福祉課】 令和4年3月から市内に相談支援事業所を一つ増やし、セルフプランの解消に努めています。</p>

（2）関係機関による総合的な支援ネットワークの拡充

【主要施策】

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
<p>①障がいのある人に対する重層的な支援ネットワークづくりの推進</p>	<p>○保健・医療・福祉・教育・雇用など広範な領域にわたる庁内関係各課及び民間機関、事業所によるネットワークを充実します。</p> <p>○地区社協*・自治会などのネットワークづくりを推進します。</p>	<p>障がい福祉課 地域自立支援協議会</p> <p>社会福祉課 社会福祉協議会</p>	<p>【障がい福祉課】 日頃より関係機関と信頼関係を築くことで、重層的な支援ができるよう努めました。</p> <p>【地域自立支援協議会】 全体会議、各専門部会を通じて支援関係機関の連携に努めました。</p> <p>【社会福祉課】 重層的支援体制整備事業への移行準備を進め、複数の福祉分野にまたがる福祉課題への対策を拡充しました。 また、市社協へ委託してコミュニティソーシャルワーク事業を実施しました。 これらの施策により、障がい者が市社協を通じて自治会などの地域のネットワークにつながるよう努めました。</p> <p>【社会福祉協議会】 地区社協による相談支援体制の拡充を図るためにコミュニティソーシャルワーカー養成基礎研修を実施しました。 地区社協を含む地区の主な関係団体等からなる協議体を設置し、生活支援コーディネーター及びコミュニティソーシャルワーカーと</p>

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
	<p>○多様な市民ボランティア活動、NPO活動、自助グループによる活動が地域資源活用に結びつくよう、ネットワークづくりを推進します。</p> <p>○地域自立支援協議会を中心に障がい者関連施設、医療機関、公共職業安定所など他分野にわたる総合的な相談ネットワークづく</p>	<p>市民活動支援課</p> <p>障がい福祉課 地域自立支援協議会</p>	<p>共に地域の課題解決に向けたネットワークを構築しました。（生活支援体制整備事業）</p> <p>社協の学習支援員及び学習支援補助員と地区社協の構成員（コミュニティソーシャルワーカー）や地域の大学生と共に地域の中学生の学習支援と居場所の提供をしました。（学習支援事業）</p> <p>就労に向けた総合的な課題を抱えている被保護者及び生活困窮者等の課題を解きほぐし就労に向けて、個人の状態に合わせて寄り添った支援を実施し、障害福祉課、自立支援課及び地域包括支援センターやケアマネと連携を図りネットワークを構築しました。（就労支援・就労準備支援事業）</p> <p>【市民活動支援課】</p> <p>市民活動の始め方から運営まで、市民活動に関するあらゆる疑問等に対し、専門家による相談会を開催し、ネットワークづくりの一助といたしました。</p> <p>また、市民活動支援センターが市民活動団体と一緒にオーガニックフェスティバルに参加し、市民活動団体の活動紹介やワークショップ等を行い、出会いの機会づくりに努めました。</p> <p>【障がい福祉課】</p>

施策・事業	施策の概要	実施部署及び連携機関	令和3年度進捗状況
	<p>りを促進します。あわせて、個別支援会議を定期的かつ必要に応じて弾力的に開催し、より実践的なネットワークを構築します。</p> <p>○君津圏域内の地域自立支援協議会間での協働を図りながら、圏域単位でのサービス基盤整備の促進等を図ります。</p>		<p>自立支援協議会全体会議、個別支援会議を開催し、関係機関とのネットワークづくりに努めました。</p> <p>【地域自立支援協議会】</p> <p>精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進連携会議を開催し、関係者が情報共有や連携を行う体制を構築しました。</p>
<p>②総合的なマネジメント機能の確立</p>	<p>○市をはじめ関係行政機関、医療機関、社会福祉法人などの相互連携と、障がいのある人の自立生活の支援や社会参加支援にかかわる必要なサービス調整のための総合的なケアマネジメント*機能を有する体制の確立を目指します。</p>	<p>障がい福祉課 地域自立支援協議会</p>	<p>【障がい福祉課】</p> <p>基幹相談支援センターを中心に障がい者の総合支援を行いました。</p> <p>【地域自立支援協議会】</p> <p>自立支援協議会の下部組織である個別支援会議及び各専門部会を開催し、総合的なマネジメント機能確立をよう努めました。</p>